

第4回「JATA SDGs アワード」受賞取組み（環境部門）

優 秀 賞

会 社 名 株式会社 JTB T-LIFE ホールディングス株式会社
東武トップツアーズ株式会社 株式会社日本旅行
名鉄観光サービス株式会社 (社名 50 音順)

テ ー マ 名 : CO₂可視化で行動が変わる脱炭素修学旅行モデル

取 組 概 要 : 2025 年大阪・関西万博を契機に、旅行業者が連携して修学旅行向け「脱炭素化ツアー」を実施。移動・宿泊等の CO₂ 排出量を可視化するツールや、脱炭素行動でポイントを集められるアプリ等を導入。楽しみながら学べる教育プログラムを通じて、観光分野における排出削減と次世代の環境意識向上を図る取組。

受 賞 理 由 : 修学旅行の移動・宿泊などの CO₂ 排出量を可視化し、生徒が削減行動を選ぶ仕組みが特徴です。楽しみながら環境意識を高められ、航空会社や宿泊施設、自治体との共創で脱炭素旅行を実現。他地域や企業研修への展開も期待されます。

特 別 賞

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス

テ ー マ 名 : ハワイの海と未来を繋ぐ、走るエコ・アクション！
「第 10 回 LeaLea Charity Run 5K」を通じたツーリズムと地域環境保全の融合

取 組 概 要 : ハワイの海を守り教育の輪を広げることを目的に、旅行者と地域住民が参加するチャリティランを 6 年ぶりに開催。寄付はワイキキ水族館のサンゴ礁展示改修に充当され、子どもや観光客が海洋生態系を学ぶ機会の拡大に寄与。ランニングを通じて責任ある観光の意識を育み、海洋保全につながる仕組みとした。

受 賞 理 由 : ハワイの特性を生かしたスポーツイベントへ発展させ、観光客が資金面・行動面の双方から環境保全に参加できる仕組みを実現。地域ランニングクラブとの協働など現地コミュニティとの共創を基盤に、10 回の開催が活動の継続性を示しています。

奨励賞

会社名 株式会社阪急交通社

テーマ名： ～世界文化遺産富士山の環境を未来に継承するために～
自然環境保全活動、富士山ぐるっと一周、頂上まで

取組概要： 2014年より実施する富士山麓での清掃活動に加え、間伐材を利用した遊歩道（木道）の整備等の森林再生のための「森づくり」、外来植物防除活動、登山者へのゴミ持ち帰り啓発など、富士山が抱える多様な環境課題に対応した活動に拡大。カーボンオフセットにも取り組み、行政・NPO・参加者と連携し、持続可能な富士山保全を目指す総合的な取組。

受賞理由： 富士山の環境保全と学びを融合し、旅行者の当事者意識を引き出す実効性の高いツアーです。今後は、環境改善効果やマナー向上への影響を継続的に可視化し、さらなる創造性で多くのステークホルダーを巻き込む発展が期待されます。

奨励賞

会社名 株式会社日本旅行

テーマ名： 新潟 新発田でサステナブルな農業を学ぶ旅
～Green Journey for School～

取組概要： CO2の排出を抑えつつ、地域活性化を目指すサステナブルな旅のスタイルを推進。社会・地域課題を学ぶ教育旅行として、探求学習の手法を取り入れ、企業による講義や農業体験や防災キャンプなどSDGsに関連した体験型プログラムを提供し、生徒がサステナビリティを実践的に学ぶ機会を創出した。

受賞理由： 探求学習や農業体験、防災キャンプ、企業講義など多様な体験・学習を融合させ、都市部の子どもに食と環境のつながりを伝える完成度の高い教育旅行プログラムです。地域と連携した持続可能な運営が光る一方、今後は汎用化を進め、より多くの学校・地域への波及が期待されます。

奨励賞

会社名 株式会社ジャルパック

テーマ名： 奄美大島 宇検村 マングローブ植林・自然文化体験ツアー

取組概要： 大学、自治体、航空会社、商社との連携で、環境保全と地域振興を両立するエコ・スタディツアーを2024年より実施。植林と学術調査、島唄などの感性教育、村の理念に基づく課題解決提案を組み合わせ、奄美の精神性を理解する「深い関係人口」育成を目指す持続可能な地域モデルとして展開している。

受賞理由： 奄美大島の豊かな生態系を守るため、マングローブの植林活動や島唄などの伝統的な文化体験を組み合わせ、保全と離島振興を両立する独創的なツアーです。産学官連携による科学的エビデンスに基づく検証や、関係人口創出への徹底した視点が際立っています。

奨励賞

会社名 株式会社 JTB

テーマ名 : ギフトで広げる SDGs

～企業活動に組み込む脱炭素と共創の循環モデル～

取組概要 : 企業の表彰・株主優待・祝花など既存のギフト行為を、ポイント交換型デジタルギフトや祝花代替として J-クレジットを購入するギフトに置き換える形で、CO2 削減や SDGs 意識向上につなげる仕組み。日常的な企業活動に無理なく導入でき、贈る行為を通じて SDGs を身近に感じる機会を生み、意識醸成や行動変容のきっかけにつながる。

受賞理由 : 中元・歳暮や祝花といった日常の商習慣に、環境配慮や寄付、脱炭素アクションを掛け合わせた独創的で斬新な B2B モデルです。企業の脱炭素への最初の一步を優しく後押しし、マーケットの裾野を広げる優れた取組と言えます。

奨励賞

会社名 沖縄 JTB 株式会社

テーマ名 : 沖縄観光周遊における環境負荷低減を実現する、持続可能な二次交通事業

取組概要 : 那覇空港と恩納村・美ら海水族館を結ぶ長距離バス「沖縄エアポートシャトル」を運行し、レンタカー依存から大型バスへの転換を促進。利用者 1 人あたりの CO2 排出量を約 57%削減し、渋滞緩和や大気汚染軽減にも貢献。地域交通事業者との共同運営で持続的な環境負荷低減を進める取組みとなっている。

受賞理由 : レンタカー依存の渋滞や環境負荷に対し、旅行会社が EV バス等の二次交通インフラを構築し、利便性と環境保全を地域と共創・両立した点が優れています。今後は障がい者割引の充実など、持続可能なモデルとしての発展が期待されます。

